

(特非) アジア砒素ネットワーク

バングラデシュの高濃度砒素汚染地域における持続的な安全水供給のための技術移転事業

ひろげる助成

1年目

実践

Multi-GSF建設 6基

「技術者認定証」受証者 12人

今年度計画の達成度 100%

目標達成度 33%



Multi-GSF建設技術者認定証の交付

活動内容と成果

- ①高濃度砒素汚染4県(砒素濃度0.3～0.7ppm)で6基のMulti-GSFが建設され、いずれも基準値(0.05ppm以下)をクリアし、1,200人程度の村人が安全な飲料水を得ている
- ②2日間の合宿セミナー・試験を経て「Multi-GSF建設技術者認定証(初級)」を得た人は12人(受講者全員)にのぼった。その試験で93点という高度な習得レベルを示すローカルNGOが育っている。Multi-GSF利用者組合とローカルNGOは現場ワークショップやセミナーを通じて、確実に技術を向上させている

課題

高濃度の砒素に汚染された井戸水に対する砒素除去装置Multi-GSFを前プロジェクトで開発したが、その技術移転を関係機関に広めていかなければ問題は解決しない。

目標

高濃度砒素汚染地域にMulti-GSFが建設され、村人が安全な飲料水を得る。同時に、Multi-GSFの建設・メンテナンスを行うことのできるNGOを育成する。



Multi-GSFから安全でおいしい水を汲む子どもたち

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

Multi-GSF利用者にメンテナンス方法の理解度をアンケートで確認しようとしたが、識字問題で口頭質疑に切り替えたこと。

■工夫した点

合宿セミナーにおいて鉄の水中での溶解や沈殿について、ピーカー実験と簡易測定キットを用いながら理解を進めていったこと。

| 活動地域 |  バングラデシュ

〒880-0014
宮崎県宮崎市鶴島2-9-6
みやざきNPOハウス208
電話：0985-20-2201
E-mail：aanm2201@miyazaki-catv.ne.jp
<http://www.asia-arsenic.jp/>



今後の
展望

現場ワークショップの実施やMulti-GSFのモニタリング時にはローカルNGOの活動に負うところが多い。Multi-GSF建設技術を含めて、彼らの技術力を向上させていくことを今後の大きな課題にする。